

## 上越地域米の品質向上に向け栽培管理を徹底しよう！

### 高温が予想されます。気象変動に対応した管理を徹底しましょう！

・新潟地方気象台7月11日発表、向こう1ヶ月の予報では、暖かい空気に覆われやすい為、気温が高く、日照量と降水量は平年並みの予想です。フェーン現象等による登熟期の高温が予想されますので、出穂期直前追肥等の検討を含め、フェーン現象等による高温時の水管理に備えて下さい。

・1回目の穂肥を未実施又は、全体に控えめの施肥管理の場合は収穫期の栄養凋落を防ぐため、出穂期の葉色を確認し追肥を検討して下さい。

(コシヒカリの目安：SPAD値32以下・葉色板4.5以下の場合、窒素成分0.5～1kg)

### 出穂期を迎え飽水管理を継続して下さい

- 登熟初中期は甘味の基となるデンプン蓄積が盛んな時期のため、可能な限り飽水管理を継続し、田面を乾かすことが無い様に管理して下さい。
- 極端な高温やフェーンが予想される場合は、速やかに湛水して稲への水分ストレスを軽減しましょう。ただし、根腐れ防止のため湛水は一時的なものとして下さい。
- 完全落水はできる限り遅くし、出穂後25日以降をめやすとして下さい。

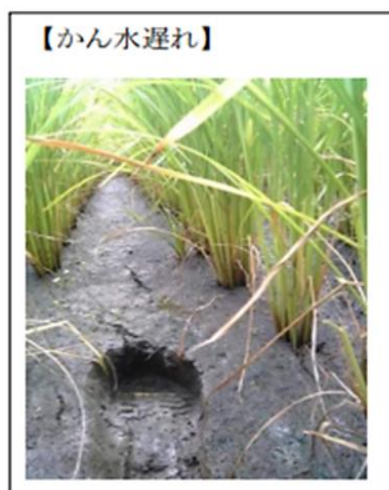
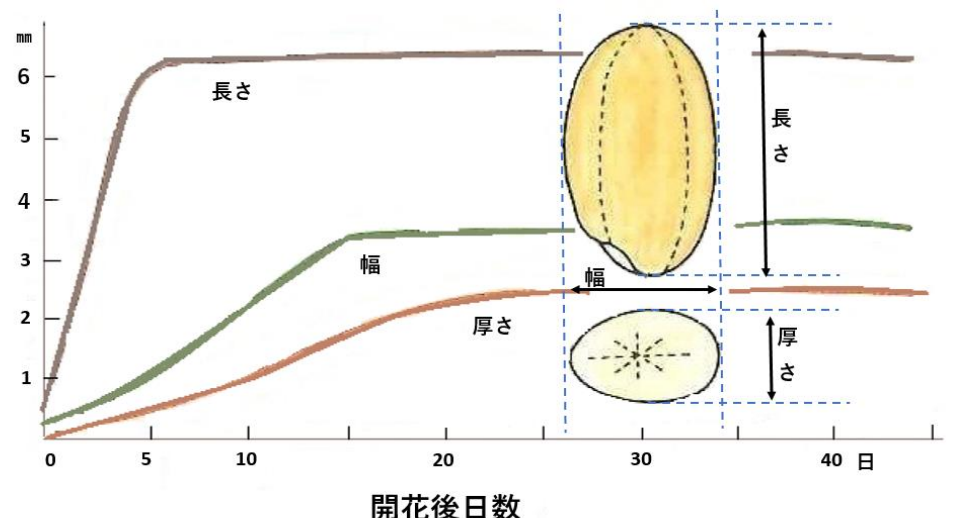


図 飽水管理の状態（足跡に水が残る程度）



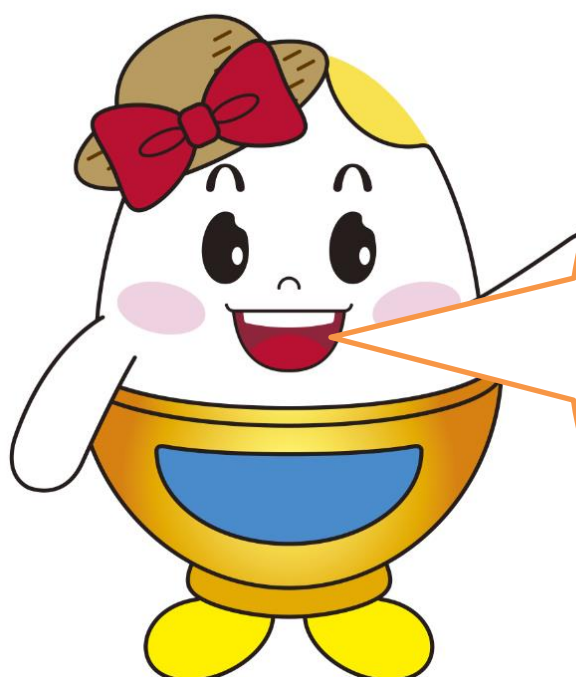
玄米の外形の発達（星川，1975）

### LINE 営農情報LINE公式アカウント 友だち募集中！

営農生産活動に役立つ情報をお届けしていきますので、生産者の皆さまの登録をお待ちしています。  
◎ 友だち登録は、QRコードを読み取るか、ID検索からお願いします。



@618zoxpw



水管理の重要な時期になります。異常高温時やフェーン現象の時は、速やかに灌水出来る様に！

# 病害虫防除について(斑点米カメムシ・稲こうじ病・いもち病・紋枯れ病)

発生中

近年の斑点米の主要加害種はアカヒゲホソミドリカスミカメ、アサジカスミカメであり、カスミカメムシ類2種の虫数と斑点米の発生には相関が認められます。ここ数年、斑点米の発生が多く(1.5%以上)、カメムシの虫数が平年並でも斑点米が多発生する可能性が高いので注意が必要です。

また、いもち病・紋枯れ病等の防除につきましても、梅雨期から梅雨明け後の多湿条件により病害の発生する可能性が、高まっておりますので注意が必要です。

病害虫名	薬剤名	10aあたり 散布量	散布時期	備考
カメムシ	スタークル粒剤	3kg	出穂期～出穂期7日後	浅水(3cm程度)で散布する
	キラップ粉剤DL	3kg	穂揃期～出穂期10日後	散布時期が早すぎないように
いもち病	ブラシン粉剤DL	4kg	収穫7日前まで	1回散布では出穂期におこなう
	フジワン粒剤	3～5kg	収穫30日前まで	穂いもち予防は出穂20日前
紋枯れ病	リンバー粒剤	3～4kg	出穂30日前～出穂期	水を張って(3cm以上)散布する
	バリダシン粉剤DL	3～4kg	1回目:出穂10日前～出穂期直前 2回目:穂揃い期頃	パイプダスター等で稲上からの散布又は株元等の発生部を狙って散布する
稲こうじ病	Z(ゼット)ポルドー粉剤DL	3～4kg	出穂20日前～10日前まで	出穂期の散布は薬害が出やすい



## ほ場ごとの収穫適期を確認して下さい

出穂期と収穫適期のめやす

- 出穂は**早生品種でやや早く、中生品種以降は平年並みになりそうです**。刈り遅れによりこれまでの管理努力が無駄にならないよう、ほ場ごとの出穂期を確認したうえで収穫計画を立て、登熟色を確認して収穫しましょう。
- 特に大規模生産者は、収穫の中心が収穫適期となるよう、無理のない計画をして下さい。

表 出穂期と収穫適期のめやす(7月18日現在)

	品種名	出穂期	出穂後の積算温度	収穫適期のめやす
早生	新潟次郎(飼料用)	7月20日頃	1,000℃～	8/28頃～
	五百万石	7月20日頃	975℃	8/24頃
	つきあかり	7月20日頃	1,000℃	8/29～9/10頃
	わたぼうし	7月23日頃	975℃	8/28頃
	こしいぶき	7月28日頃		9/1頃
中生	こがねもち	8月1日頃	1,000℃	9/9頃
		8月3日頃		9/12頃
	コシヒカリ	8月6日頃		9/18頃
		8月8日頃(中山間地) 8月12日頃(山間地)		9/22頃(中山間地) 9/30頃(山間地)
	新之助	8月8日頃		9/20頃
	にじのきらめき	8月8日頃		9/20頃
晩生	みずほの輝き	8月10日頃	1,100℃	9/25頃

## 令和6年度 安全・安心「えちご上越米」栽培履歴の提出について

・第2回目提出日、**8月20日**までに農家組合長又は支店の方へ提出をお願いします。

※栽培履歴の提出が必要な方は、JAに米を出荷する方及び飯米のみ作付の方でも、カントリーエレベータ等のJA施設を利用される方が対象です。提出が無いと施設利用が出来なくなります。必ず提出して下さい。



上越地域米の品質向上に向け栽培管理を徹底しよう！

高温が予想されます。気象変動に対応した管理を徹底しましょう！

- ・新潟地方気象台7月11日発表、向こう1ヶ月の予報では、暖かい空気に覆われやすい為、気温が高く、日照量と降水量は平年並みの予想です。フェーン現象等による登熟期の高温が予想されますので、出穂期直前追肥等の検討を含め、フェーン現象等による高温時の水管理に備えて下さい。
- ・1回目の穂肥を未実施又は、全体に控えめの施肥管理の場合は収穫期の栄養凋落を防ぐため、出穂期の葉色を確認し追肥を検討して下さい。

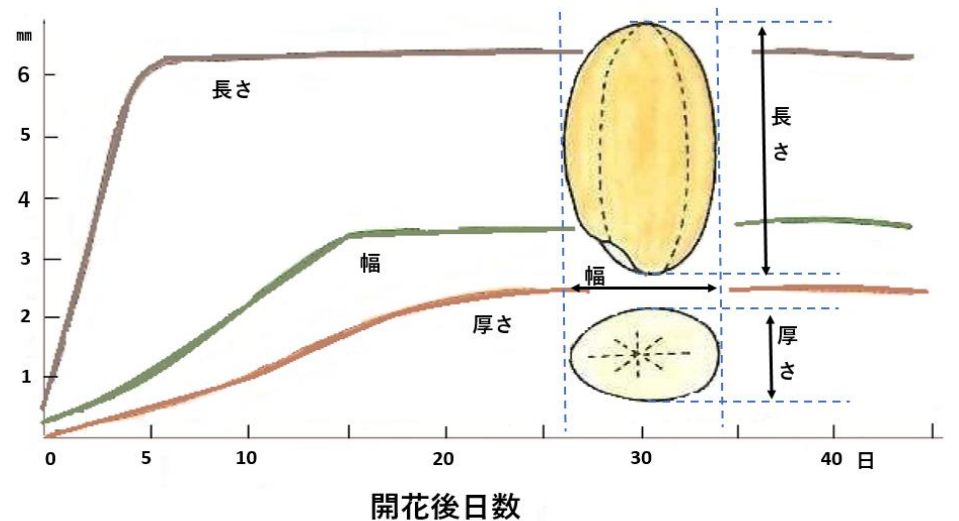
(コシヒカリの目安：SPAD値32以下・葉色板4.5以下の場合、窒素成分0.5~1kg)

出穂期を迎え飽水管理を継続して下さい

- 登熟初中期は甘味の基となるデンプン蓄積が盛んな時期のため、可能な限り飽水管理を継続し、田面を乾かすことが無い様に管理して下さい。
- 極端な高温やフェーンが予想される場合は、速やかに湛水して稲への水分ストレスを軽減しましょう。ただし、根腐れ防止のため湛水は一時的なものとして下さい。
- 完全落水はできる限り遅くし、出穂後25日以降をめやすとして下さい。



図 飽水管理の状態（足跡に水が残る程度）



玄米の外形の発達（星川，1975）

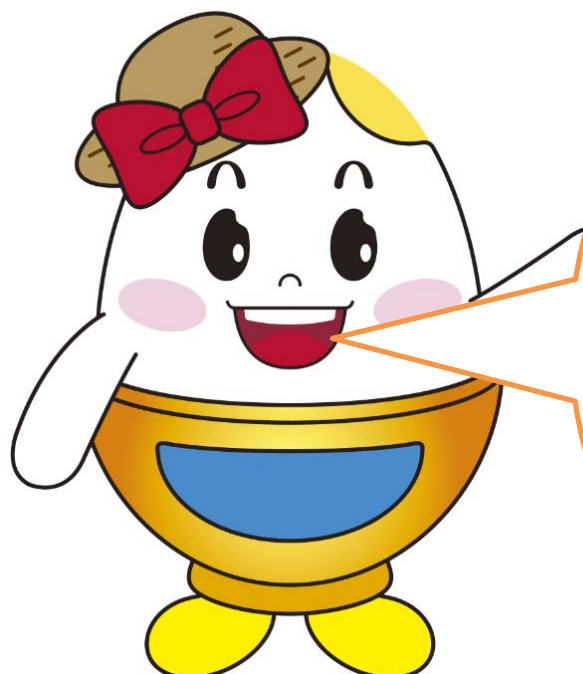
LINE 営農情報LINE公式アカウント  
友だち募集中！

営農生産活動に役立つ情報をお届けしていきますので、生産者の皆さまの登録をお待ちしています。

◎ 友だち登録は、QRコードを読み取るか、ID検索からお願いします。



@618zoxpw



水管理の重要な時期になります。異常高温時やフェーン現象の時は、速やかに灌水出来る様に！